

オピオイドの適正使用について

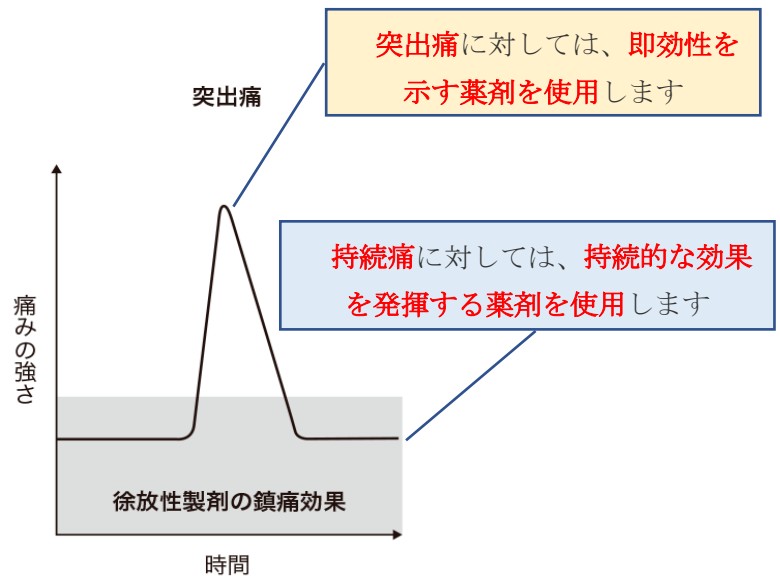
「オピオイド」とは？

一般的に、「オピオイド」は「麻薬性鎮痛薬」を指す用語で、**痛み止めや咳止めとして使われています**。麻薬という言葉に対して、依存性について不安に思うかもしれませんが、医療用の麻薬は、医師が処方した**用法・用量を守って使用すれば依存性は少ない薬剤**とされています。

どのような痛みに使う？

オピオイドはその強力な鎮痛作用から、**がん性疼痛等に使用**されます。がん性疼痛は、痛みがある状態が続く**持続痛**と、**突出痛**と呼ばれる一時的な強い痛みで構成されます。

オピオイドを使って痛みを取り除くことは、日常生活を改善することや前向きながん治療にもつながります。また、**オピオイドの使用によって病気を悪化させることはありません**。



オピオイドはどのような注意が必要？

オピオイドには経口剤や注射剤、貼り薬、坐剤などがあります。それぞれに、効果の持続時間や副作用の出方に違いがあるため、状況に応じて使い分けがなされます。

例えば、経口剤の**オキシコドン徐放錠**は薬がゆっくりと溶けるため、**長時間の効果が期待できる薬剤**です。お薬を飲んでいる間は、多くの場合に便秘になります。便秘時には一般的な下剤や便秘治療薬を服用して改善を目指します。

貼り薬の**フェントステープ**は、効果が始めるまでに時間がかかる薬剤です。貼付部位の体温が上昇した際には吸収量が増加し、効果が出すぎる可能性もあります。そのため、**入浴時には熱いお風呂や長時間の入浴は避けるように**しましょう。

◆当院で使用可能なオピオイド鎮痛薬（一部）

経口	徐放製剤	オキシコドン徐放錠 ナルサス錠 タペタ錠
	速放製剤	オブソ内服液 オキノーム散 アブストラル舌下錠
静注		モルヒネ注
経皮		フェントステープ